

2025 年度（令和 7 年度）福山市立駅家西小学校学校経営基本構想

【学校教育目標】

確かな学力と豊かな感性に培い、仲間とともにやりぬく子どもの育成

学び合う子
(問題解決力)

支え合う子
(共生)

やりぬく子
(自律)

ミッション（使命）

希望ある未来、駅家・福山の担い手
となる「生きる力」の育成

ビジョン（将来像）

体験学習を活かし、学ぶ意欲を育てる学校
家庭・地域とつながり、歴史・文化を継承・発展させる学校

【めざす授業】

自分の知識や考えをつなげ、主体的に学び合う授業
お互いの考えを聴き合い、協働的に学び合う授業

【めざす教職員像】

教育のプロとして自分を磨き、強みを活かし子どもに
関わりきる
教育公務員としての自覚、使命感を自覚する
組織で活動し、改革する意識を常にもつ

育成する力 (21世紀型「スキル&態度」)		課題発見・解決力	コミュニケーション力	挑戦する力
めざす子ども像	低学年	○身近な問題に対して疑問をもち、自分なりに導き出した答えを表現・実行する力	○自分の役割に責任をもつ力 自分の考えを伝える力	○学級・学年や家族の一員であることを自覚し、主体的に学ぶ力
	中学年	○地域や社会の問題に対して、もっている知識を関連付けて考え、自分なりに導き出した答えを表現・実行する力	○自分の役割や言動に責任をもったり、助け合ったりする力 ○自分の考えを伝え、相手の考えを比較しながら聴く力	○学校や地域の一員であることを自覚し、主体的に学び、チャレンジする力
	高学年	○様々な問題に対して、もっている知識や経験等をフル活用して考え、自分なりに導き出した答えを表現・実行する力	○他者との関係を協調的に築きながら自分の考えを発信し、様々な人と課題解決する力	○地域・社会の一員であることを自覚し、持続可能な社会に向け主体的に学んだりチャレンジしたりする力

カリキュラム・マネジメント PDCAサイクルによる 教育活動の充実

学力を育てる（知） 学力向上	心を育てる（徳）	生活力・体力を育てる（体）
★目的 「子どもに力をつける」 手段 「授業改善」 ○分析データを活用した授業の実践及び改善（標準学力調査 第4・5学年 国・算） ○子どもの学びの状況に応じて展開する授業 ○傾聴と対話を大切に学習集団づくり ○E S Dの視点を活かした教育課程の編成（岡山大学 柴川弘子先生 インドネシアの学校との交流） ○カリキュラムマップを活用した単元の計画 ○駅西の町に誇りをもつ子・学びを発信する子を育てる総合的な学習の時間（篠原テキスタイルとの連携）福山デニム ○見通しをもった校内研修と実践の充実 ○幼保小中連携の充実	○道徳教育の充実 ○学校図書館利活用の推進 ○安心して学ぶことができる学級集団づくり ○異学年で学び合うたてわり班活動（児童会行事・そうじ） ○集団宿泊体験等の体験活動の教育課程への位置づけ ○地域や人と「つながり」ながら学ぶE S D ○男女混合名簿の導入（多様性を認め合う）「～さん」	○生徒指導の充実…自律 ○「早寝早起き・朝ごはん・メディアコントロール」（東北大学榊助教） ★低学年から習慣化 ○「運動の記録」の活用 ○集団宿泊活動の推進 ○新体力テスト項目の日常的な活動（サーキット・体力づくりカード・体育館遊び） ○児童委員会活動の充実 ○健康や安全への意識を高める ○避難訓練、防犯教室・交通安全教室の実施、マイタイムラインの活用

学校全体での特別支援教育 【 2026年度（令和8年度）県大会 】

○小中一貫教育（コミュニティ・スクール）R8～ ○開かれた学校づくり ○教育公務員としての自覚

信頼される学校



通わせたい学校